環境TES

取付説明書 ー ユニットA・B ー

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●前もって設置場所の確認を行ってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

ポイント

●草や木などの風によって動く物の近くに設置しないでください。

＜施工上の注意＞

注意

●ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

＜基礎工事について＞

⚠注 意

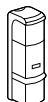
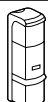
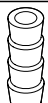
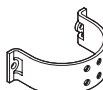
●ご使用になる場所に合わせて基礎寸法を算定してください。本取付説明書に記載している基礎寸法は、長期地耐力100KN/m^2、風速34m/S（※）相当の地域を想定した参考寸法です。
　※建築基準法施行令第87条に規定される、Voに準じた風速。
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

＜電気配線工事について＞

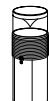
⚠注 意

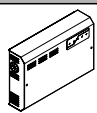
●電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
●専用のトランスが必要です。AC100Vを接続しないでください。
●機器に接続する電圧、極性を間違えないでください。故障の原因になります。
●使用するケーブル及びケーブル埋設管（呼び16以上のもの）は別途現場手配してください。

■梱包明細表

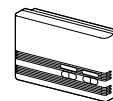
【1】ユニットA柱セット

名　称	略　図	員 数			
		独立用	AF−9用	オブリーク用	
		H2500	H2000·2500	H2000	H2357・2657 2957・2987
柱		1	1	1	1
胴縁ブラケット		ー	2	2	4
【1-1】M8×140六角ボルト		ー	2	2	4
【1-2】M8バネ座金		ー	2	2	4
【1-3】M8平座金		ー	2	2	4
取付説明書	ー	1	1	1	1

■つづき

【2】ユニットB柱セット

名　称	略　図	員数		
		独立用	AF−9用	オブリーク用
柱		1	1	1
胴縁ブラケット		—	2	—
クッション材		1	1	1
【2-1】φ4×16トラス小ネジ		2	2	2
【2-2】M8×140六角ボルト		—	2	—
【2-3】M8バネ座金		—	2	—
【2-4】M8平座金		—	2	—
取付説明書	—	1	1	1

【3】アクティブセンサ

名　称	略　図	員数
投光器		1
受光器		1
配線パッキン		4
光軸調整用減光板	—	1
ポール金具※		4
【3-1】φ4×20トラスタッピンネジ1種		8
【3-2】φ4×40トラス小ネジ※		8
施工説明書	—	1

※本施工では使用しません。

【4】灯具制御ユニット

名　称	略　図	員数
灯具制御ユニット本体		1

【5】電源セット

名　称	略　図	員数
電源		1
取扱説明書	—	1

【6】セキュリティコントロールボックス　オプション

名　称	略　図	員数
セキュリティコントロールボックス		1
取扱説明書	—	1

C364_200704A

1. 基本寸法図と各部名称

1-1 AF－9取付寸法図

図1-1 AF-9取付平面図

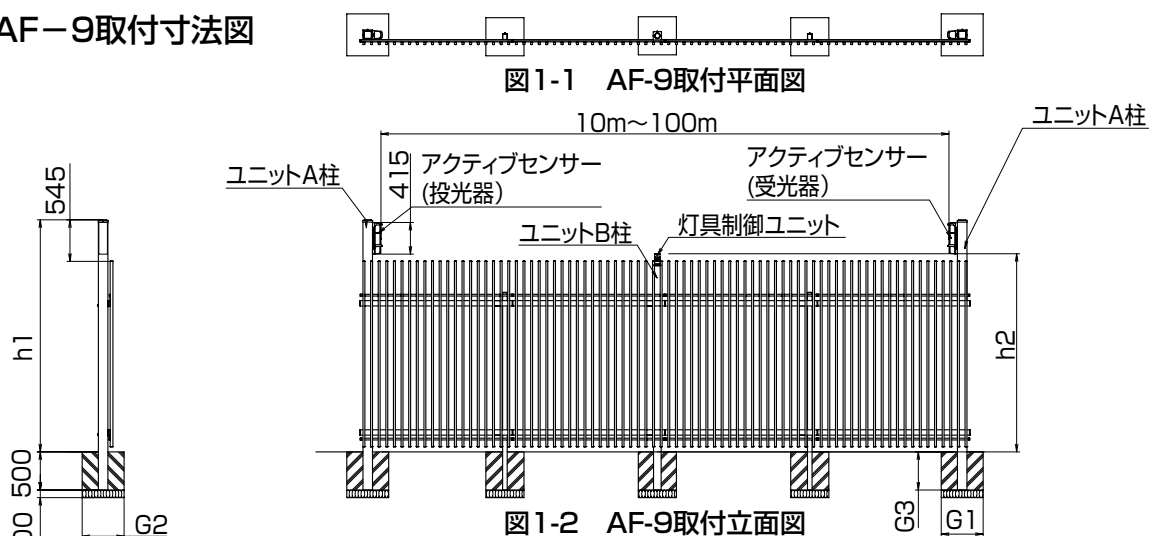



図1-2 AF-9取付立面図

		h1	h2	G1	G2	G3
ユニットA柱	H2000用	2545	−	450	450	500
	H2500用	3045	−	550	550	500
	H2500（独立用）	3045	−	300	300	500

		h1	h2	G1	G2	G3
ユニットB柱	H2000用	−	2100	400	400	500
	H2500用	−	2600	500	500	500
	H2500（独立用）	−	2600	300	300	500

※柱と本体の取付はフェンス本体に同梱されている「アルミフェンス－AF-9－取付説明書（C351）」を参照してください。
※ユニットA柱（独立用）・ユニットB柱（独立用）は、フェンス本体の取付はできません。

1-2 オブリークフェンス取付寸法図

117.5

図1-3 オブリークフェンス取付平面図

10m～100m
ユニットA柱
415
アクティブセンサー
(投光器)
アクティブセンサー
(受光器)
ユニットB柱
灯具制御ユニット
545
117.5
h1
h2
500
100
G1
G2
G3

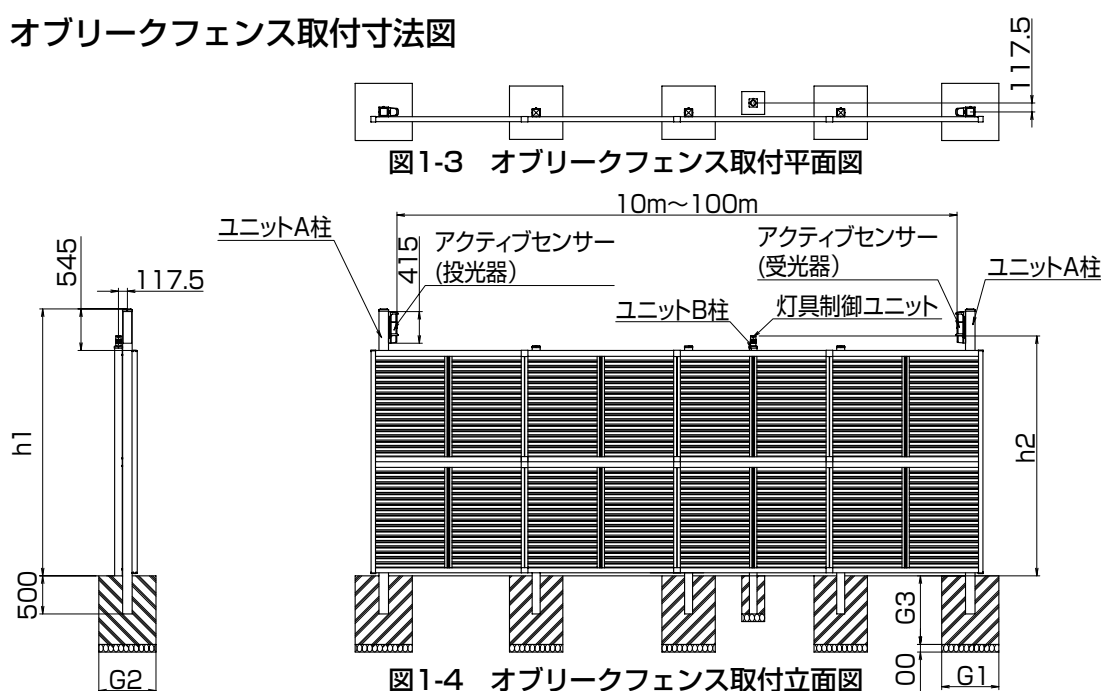



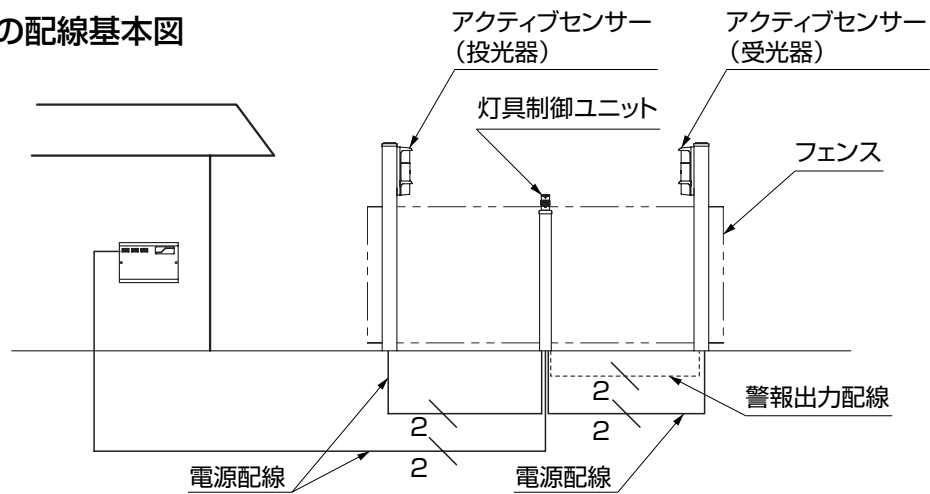
図1-4 オブリークフェンス取付立面図

	本体サイズ	h1	h2	G1	G2	G3
ユニットA柱	H2000	2545	−	650	650	700
	H2357 (1200-1200)	2902	−	700	700	800
	H2657 (1200-1500)	3202	−	700	700	850
	H2657 (1500-1200)	3202	−			
	H2957 (1500-1500)	3502	−	750	750	900
	H2987 (1200-1800)	3532	−			
	H2987 (1800-1200)	3532	−			

	本体サイズ	h1	h2	G1	G2	G3
ユニットB柱	H2000	−	2160	300	300	500
	H2357	−	2517			
	H2657	−	2817			
	H2957・2987	−	3147			

※ユニットB柱にオブリークフェンス本体の取付はできません。
※ユニットA柱と本体の取付はフェンス本体に同梱されている「オブリークフェンス取付説明書（C353）」を参照してください。

2. ケーブルの配線方法

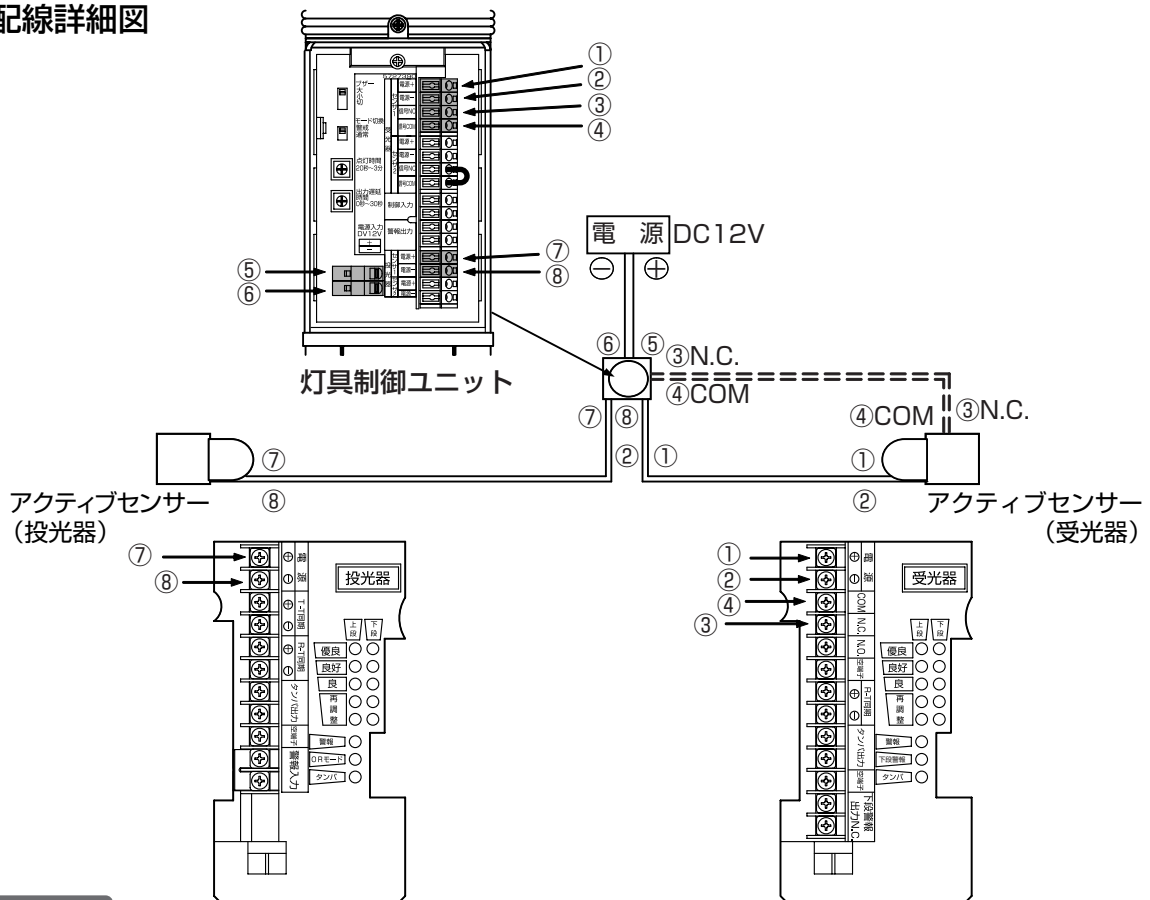
2-1 ケーブルの配線基本図

ポイント

●電源装置は、屋内もしくはBOX内等、雨や水のかからない場所に設置してください。
●電源装置の取付けは、同梱されている「取扱説明書」にしたがって作業してください。

補 足

●ケーブル埋設管（呼び16以上のもの）及び接続ケーブルは現場で別途手配してください。

2-2 配線詳細図

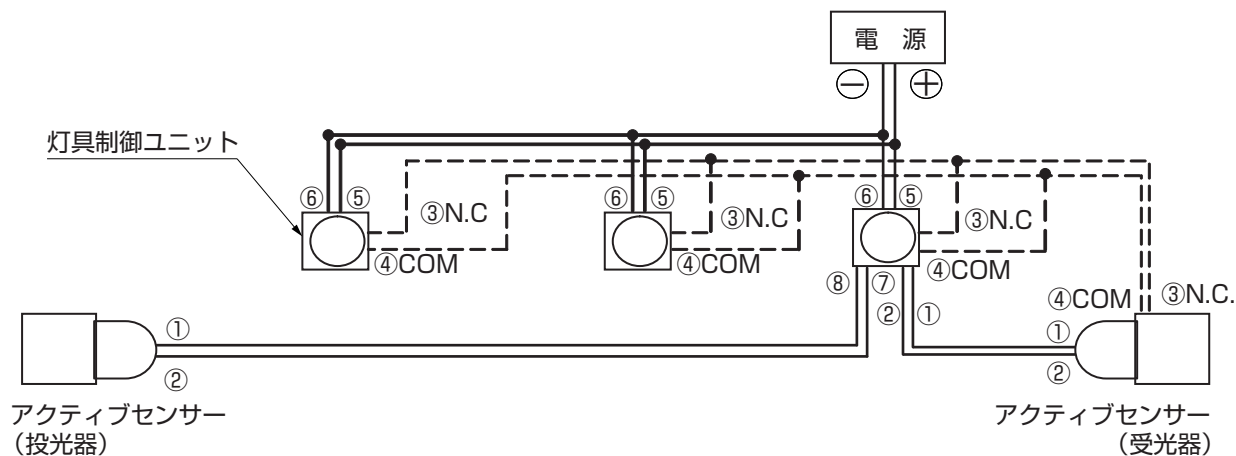
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
電 源 DC12V
⊖ ⊕
⑥ ⑤ ③N.C.
④COM
灯具制御ユニット
⑦ ⑧
② ①
④COM ③N.C.
⑦
①
⑧
②
アクティブセンサー
（投光器）
アクティブセンサー
（受光器）
⑦
⑧
投光器
①
②
④
③
受光器

ポイント

●電源のプラス・マイナスは間違えないで結線してください。

C364_200704A

2. つづき

2-3 灯具制御ユニットを複数取付けた配線

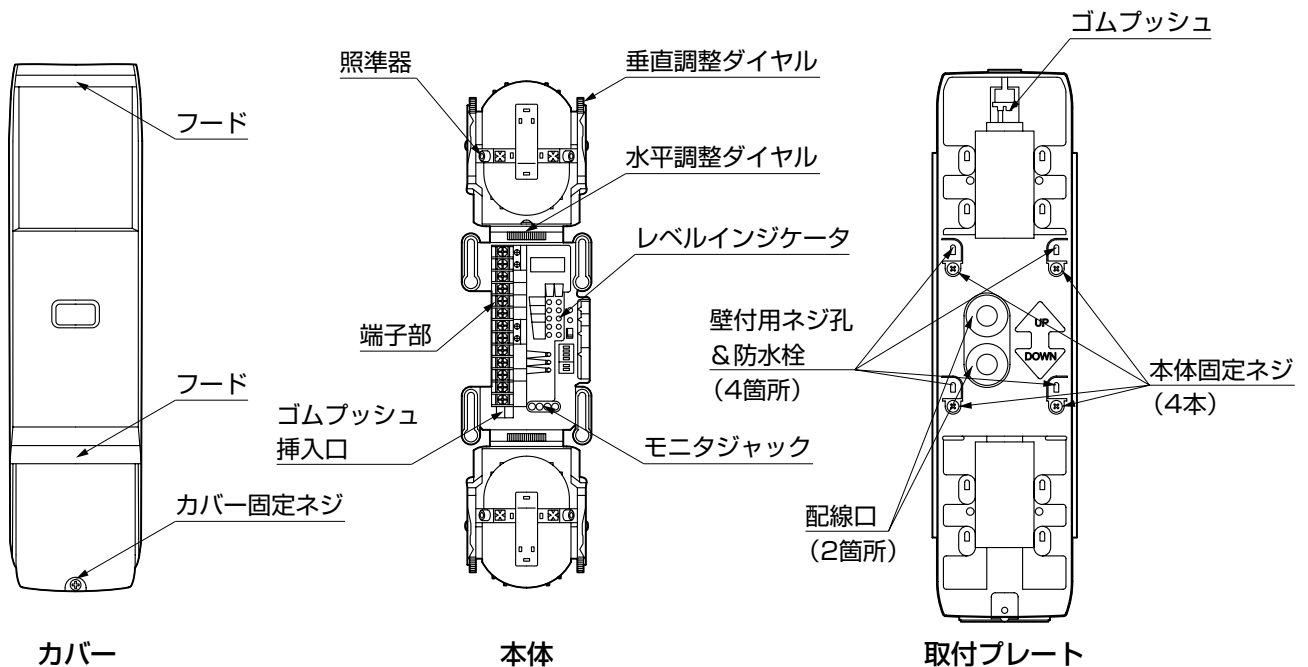
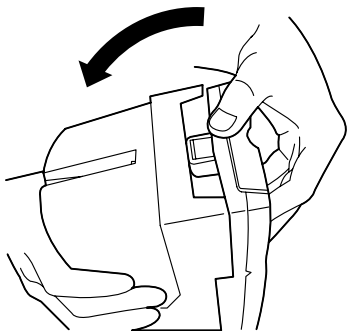
①灯具制御ユニットを複数取付けるときは、上記の配線図を参照して取付けてください。

2-4 電源装置からの配線距離

電源電圧	DC12V
0.33mm² (φ0.65)	110m
0.50mm² (φ0.8)	170m
0.79mm² (φ1.0)	270m
1.13mm² (φ1.2)	380m

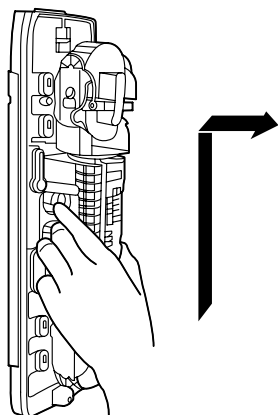
①電源部からの配線は、上表の数値内で行なってください。同じ配線に2台以上接続する時は、上表の値を接続台数で割った距離となります。

C364_200704A

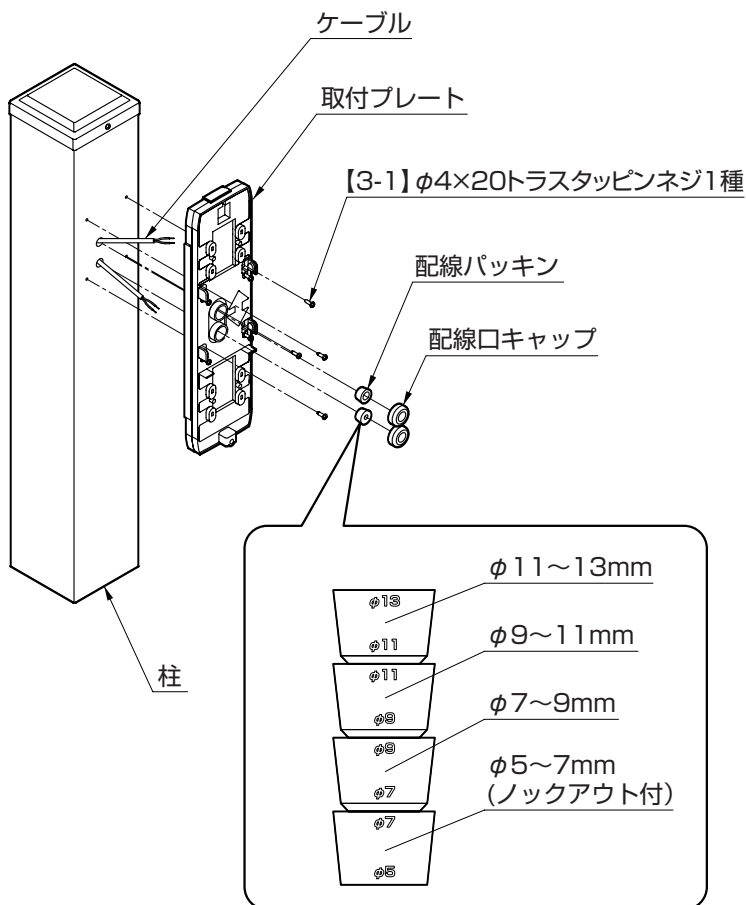
3. アクティブセンサーの取付方法

3-1 各部の名称

3-2 本体の取はずし

①カバー下側のカバー固定ネジをゆるめ、カバーをはずしてください。

ポイント

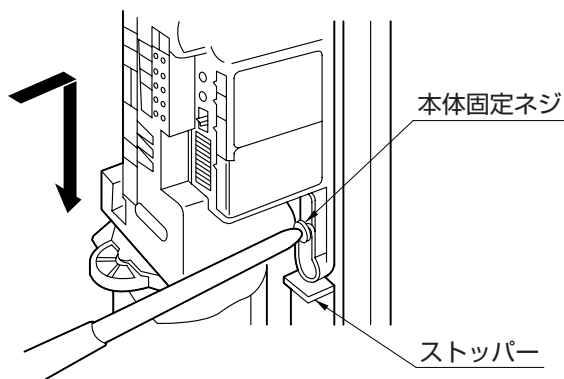
●カバーをはずすときは、フードに指をかけないでください。破損するおそれがあります。

②本体固定ネジ4本をゆるめ、本体を上側にスライドさせてはずしてください。このときネジはゆるめるだけで、はずす必要はありません。

3. つづき

3-3 本体の取付け

①取付プレートの配線口のキャップをはずし、ケーブルをを引き込んでください。
②配線パッキンをケーブル先端から約15cmの位置まで通し、配線口のくぼみに配線パッキンを入れ、キャップを確実にしめてください。

補 足

●配線径に応じて必要な配線パッキンを切り取ってください。使用しない配線口には、φ5〜7mmのパッキンをノックアウトを破らずに取付けてください。

③壁付用ネジ孔4箇所の防水栓を開け、【3-1】で柱に取付けてください。取付後は、ネジ孔を防水栓で再度ふさいでください。

④本体を取外しの時と逆の手順で取付プレートに固定してください。このとき、本体がストッパーに当たっていることを確認してください。

補 足

●本体への配線はP5.「2.ケーブルの配線方法」を参照してください。

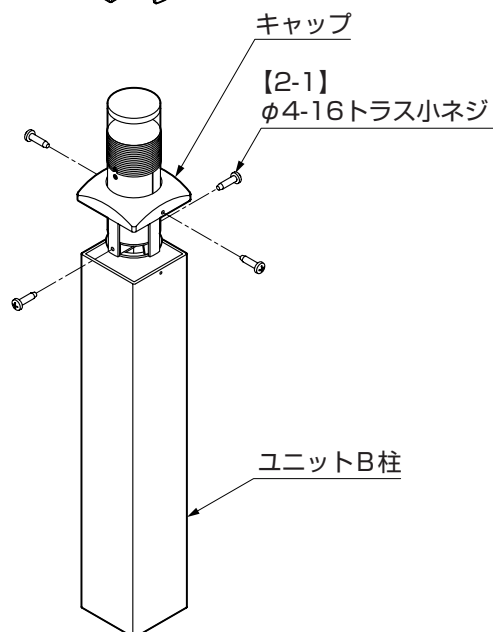
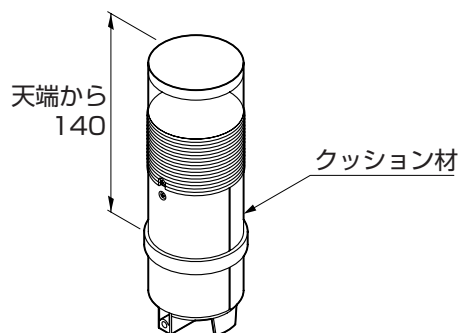
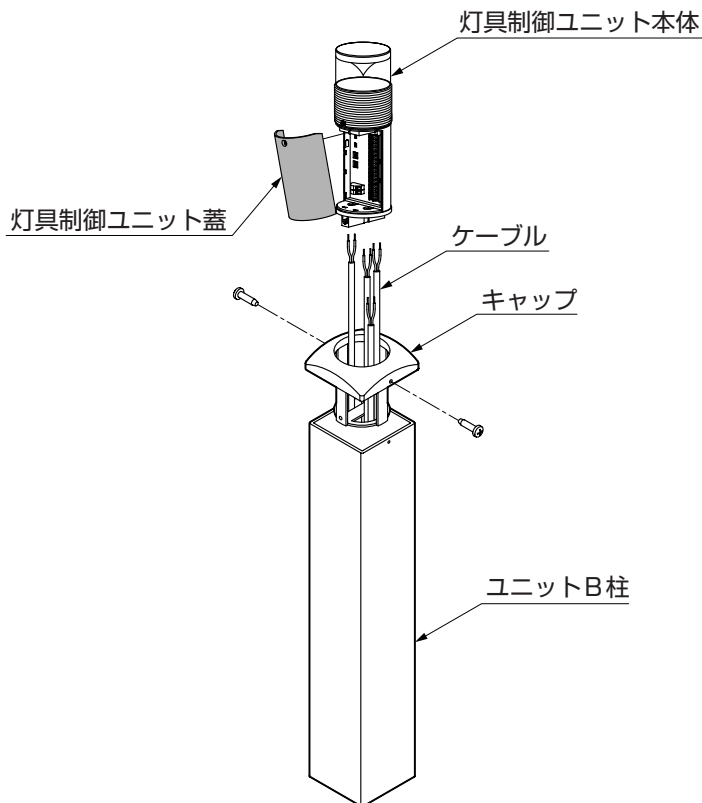
3-4 光軸の調整

①本体の取付けおよび、電源の接続が完了したら、光軸の調整を行なってください。
②光軸の調整が終わったら、受光器と投光器のカバーをはめ、カバー固定ネジを取付けてください。

ポイント

●本体の光軸調整は同梱されています「施工説明書」にしたがい正しく行なってください。光軸調整が正しく行なわれていない場合、誤作動の原因になります。

C364_200704A

4. 灯具制御ユニットの取付方法

①ユニットB柱キャップについているネジをゆるめ、キャップを取りはずしてください。

②灯具制御ユニット蓋を止めてあるネジをゆるめ、蓋を取りはずしてください。

③キャップ下側から、配線ケーブルを通し、灯具制御ユニット底面の孔よりケーブルを引き出し、端子台に接続してください。

補 足

- ●灯具制御ユニット本体の配線は、P.5～6『2.ケーブルの配線方法』を参照してしてください。
- ●灯具制御ユニットの設定を変更する場合は、P10「5.灯具制御ユニットの設定」を参照してください。

④端子台に接続後、灯具制御ユニット蓋を灯具制御ユニット本体にネジで取付けてください。

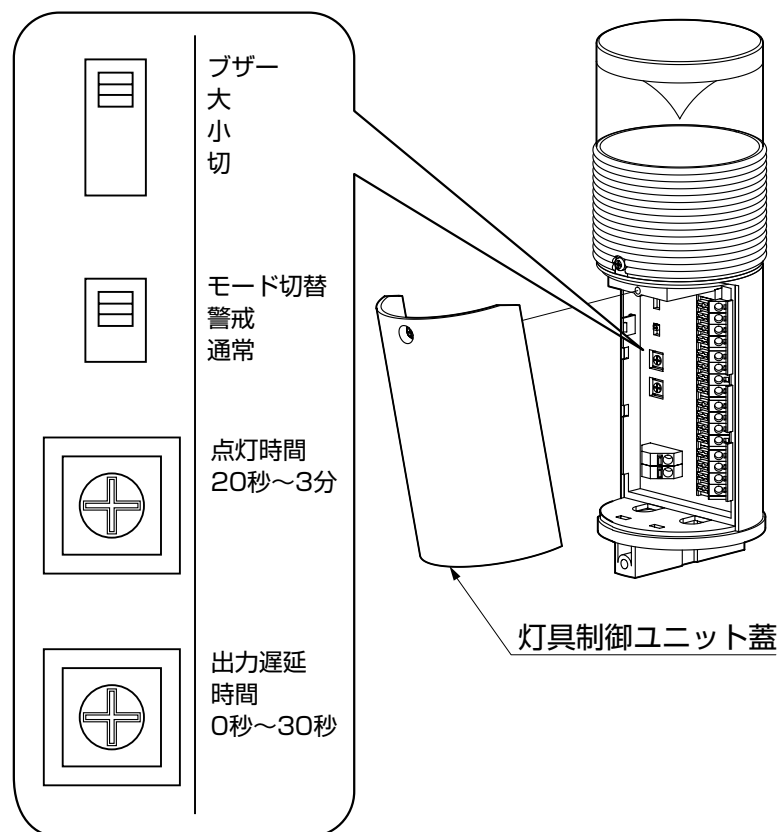
⑤キャップと灯具制御ユニット本体の隙間を埋めるように、図の位置にクッション材を巻き、貼り付けてください。

ポイント

- ●クッション材は、必ず灯具制御ユニットの配線及び設定が完了してから貼り付けてください。

⑥灯具制御ユニット本体をキャップに差込み、【2-1】で固定してください。

⑦キャップとユニットB柱を最初に取りはずしたネジで固定してください。

5. 灯具制御ユニットの設定

ポイント

●出荷時の設定がお勧めの設定になりますが、使用状況に応じて設定を変更してください。
●点灯時間・出力遅延時間の調整には、精密ドライバーなどの先の小さいものを使用してください。

①灯具制御ユニット蓋を取外してください。
②ブザー、モード切替、点灯時間、出力遅延時間を設定してください。

ポイント

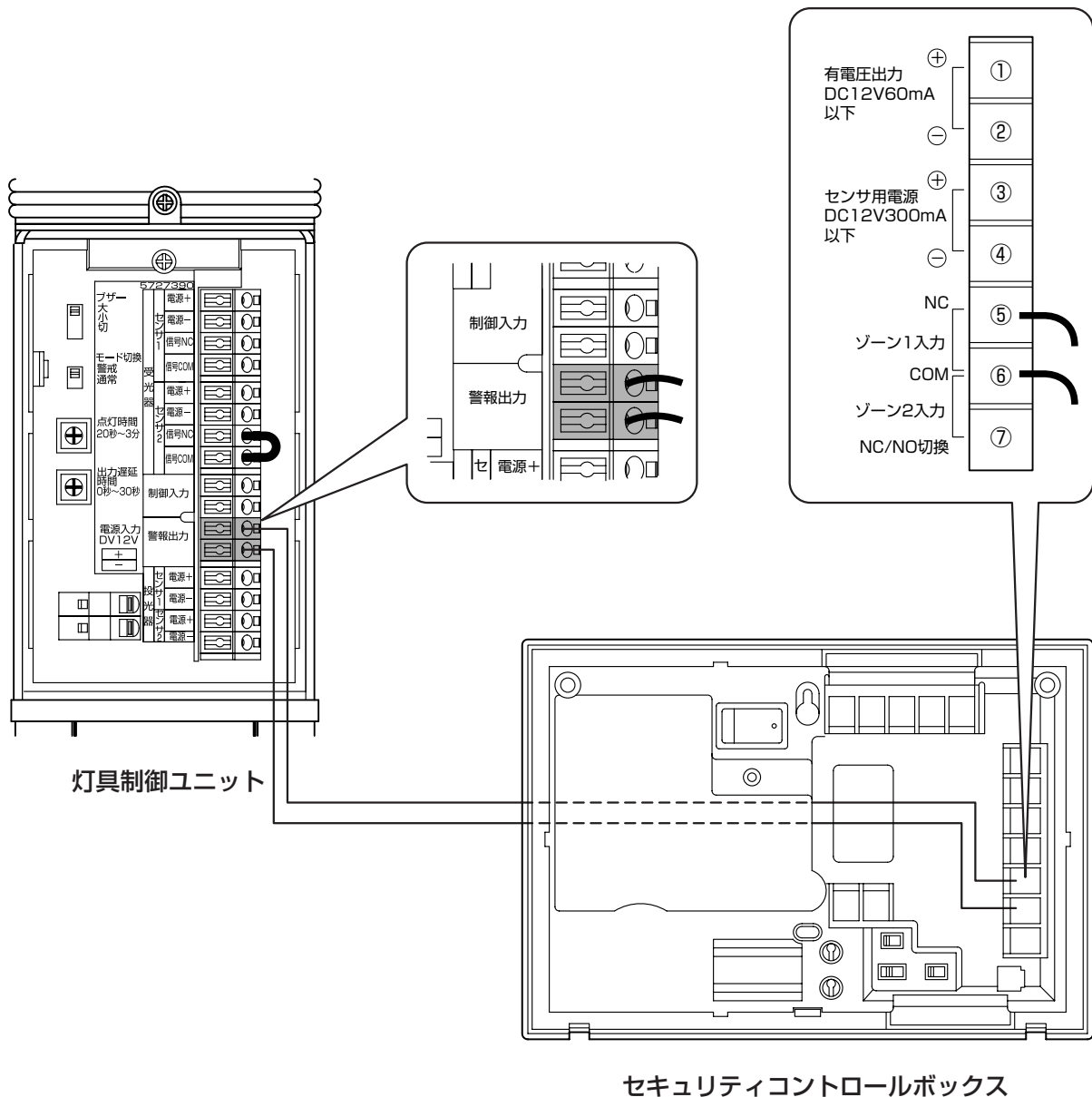
●ブザーはスイッチをスライドさせることにより大小を切り替えられます。また音を切ることもできます。出荷時は大に設定されています。
●モード切替スイッチを警戒モードにすることにより、感知後フラッシュが作動します。出荷時は警戒モードに設定されています。
●点灯時間は20秒から3分まで調整できます。出荷時は20秒に設定されています。
●警戒モードは感知後フラッシュを15秒間行い、その後設定時間まで常時点灯をします。フラッシュ時間の15秒は変えることができません。
●通常モードでは設定時間まで点灯します。
●出力遅延時間は検知後、作動を開始するまでの時間を0秒から30秒まで調整できます。出荷時は0秒に設定されています。
●アクティブセンサーが検知した場合、必ず設定時間後に作動します。

③設定が終了したら、灯具制御ユニット蓋を取付けてください。

6.セキュリティコントロールボックスの取付け オプション

ポイント

●取付けおよび設定については、同梱されている「セキュリティコントロールボックス取扱説明書」にしたがい、正しく行ってください。

6-1 灯具制御ユニットとの接続

①灯具制御ユニットにセキュリティコントロールボックスを取付けるときは、上記の配線図を参照して取付けてください。

補 足

●灯具制御ユニットの取付けおよび配線の引込みは、P.9「灯具制御ユニットの取付方法」を参照してください。

C364_200704A